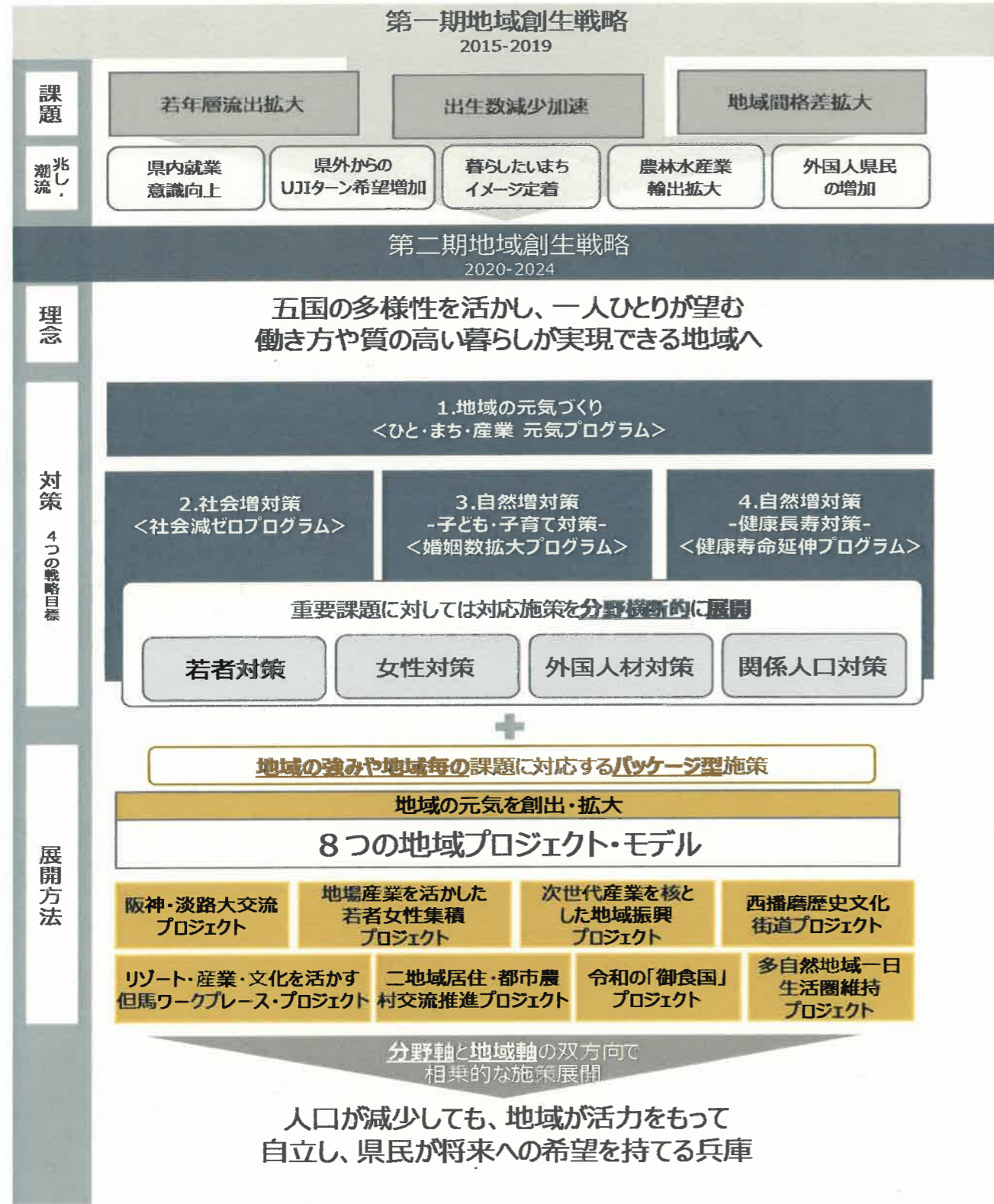


兵庫県地域創生戦略(2020-2024) 概要

第二期「兵庫県地域創生戦略(2020-2024)」概要

第一期戦略(2015~2019年度)の5年間の評価検証等を踏まえ、2020年度から2024年度の今後5年間の目標及び取り組むべき施策を定めた、第二期となる「兵庫県地域創生戦略(2020~2024)」を策定する。



地域創生の課題

- 人口面**
 - 若年層流出拡大
 - ・20歳代前半の転出超過数はH26年からの5年間で1.7倍
 - ・県内大学生の県内就職率は3割弱で推移
 - 出生数減少加速
 - ・出生数は、H28から減少幅が拡大
 - ・50歳時未婚率の上昇、20~30歳代の女性人口の減少が主な要因
- 戦略面**
 - 地域間格差拡大
 - ・県内でも都市圏と多自然地域で人口偏在が顕在化
 - ・合併市町では、旧役場の所在地周辺が疲弊
 - ・小規模集落が10年間で倍増



Point 1 地域の元気づくりを第1に推進

産業の活性化、交流の拡大、まちづくりの3つの観点から

指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国を上回る一人当たりの県内総生産(GDP)の伸びを維持する 2. 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について、前年度を上回る 	
地域に注ぐこと	産業の活性化 <ul style="list-style-type: none"> -兵庫の強みを活かした産業競争力の強化- -先端科学技術基盤を活かした次世代産業の創出・参入促進 -地域産業の振興- -地場産業の新ブランド創出支援、商業業務機能の集積 -企業立地・投資の促進- -IT関連企業や、ホテル・スポーツ施設など「観光集客機能」の立地促進 -外国・外資系企業が集積し、外国人等が暮らしやすい地区の形成 -起業・創業の更なる支援- -知的イノベーション拠点やコワーキングスペースの形成支援 -農林水産業の基幹産業化- -次世代施設園芸、スマートファーム、農業のスマート化 	
	交流の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産や歴史文化遺産など、地域資源を活かした観光コンテンツの開発 ・医療やスポーツなど、新しいツーリズムの展開 ・世界ブランドの高級ホテルの誘致 ・ひょうごe-県民制度を活用した情報発信等による関係人口の創出・拡大 ・都市のリノベーションの推進(三宮、県庁周辺、西宮、姫路、明石等) ・夜間でも楽しめるナイトタイムコンテンツの充実 ・世界のトップレベルの大学への進学者を拡大する教育システムの確立 ・革新的技術の地域実装(ドローン、遠隔医療、遠隔授業など) 	
芸術文化	安全安心	にぎわい

Point 2 人口対策

社会増	指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2024年までに日本人社会減ゼロ 2. 20歳代前半の日本人若者の県内定着率93% 3. 5年間で25,000人の外国人の増加 	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業情報の発信やマッチングの強化等、若者や女性の定着・環流を促進する具体的な取組を推進 ・外国人材の県内定着等多文化共生社会の実現を推進 	
自然増	子ども	指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2024年まで合計特殊出生率1.41を維持 2. 結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻件数27,000件 	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者と連携した結婚のきっかけづくりなど、結婚したいという希望を叶え、婚姻数の増加を図る ・子ども・子育て環境を整備し、出生数の増加につなげる
自然増	健康長寿	指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平均寿命と健康寿命の差を縮める 2. 運動を継続している人の割合75% 	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと暮らせるよう、スポーツに親しむ機会の充実や疾病等の早期発見・早期治療を促進し、健康寿命の延伸を図る

自然増・社会増対策のベースとなる、地域の豊かな未来づくり

Point 3 地域プロジェクト・モデルを新設

施策に対応する具体的な事業・指標は、毎年度策定(3月)する事業実施計画において設定・展開

地域プロジェクト・モデル

兵庫の強みは、五国の多様性が育んできた地域資源、そして兵庫にふると意識を持つ人々の営みである。第一期戦略では、こうした強みを活かし、各地域で地域創生の芽とも言うべき動きが生まれた。

本戦略では、こうした地域創生の動きを確かなものにするため、地域の未来づくりとも言える、行政圏域を超えた広域的かつ先進的な地域プロジェクトを、市町と手を携えながら、住民・企業・大学等と一体となって取り組んでいく。そして、効果の高いプロジェクトを他の圏域へと横展開することで、兵庫全体の活力へとつなげていく。



※8の「多自然地域一日生活圏維持プロジェクト」は、多自然地域で展開

1

阪神・淡路大交流プロジェクト

展開方向
阪神南
阪神北
神戸
淡路

■今後のインバウンドの増加を見据え、阪神・淡路ベイエリアを関西国際空港や高速道路網の整備等、国際的な交流基盤を活かし、製造業の集積エリアから、集客・交流エリアとして発展させるため、滞在・集客施設の設置やMICE機能の集積、海上交通の整備等を促進する。



サンテックシンガポール国際会議展示場
JWマリオット・ホテル・シンガポール・サウスビーチ

2

地場産業を活かした若者・女性集積プロジェクト

展開方向
北播磨
中播磨
西播磨
他

■地場産業を活かした新ビジネスに挑戦する、若いデザイナーやクリエイター等の人材育成システムを確立する。
■若者の新たな視点やデザイン等を活かした高付加価値化や産地間の共同による製品開発の促進、地元企業の連携による製販一体体制の確立等を図り、世界と直結したビジネス展開や独自ブランド開発等を推進する。
■地域資源を活かした滞在型・体験型ツーリズムの推進等、産地を体感できるまちづくりを推進する。



ゴレ (イタリア)
※エンバーク中核の産地経営・世界展開、職人・バイヤー・観光客の集積
【写真提供：中川観光株式会社】

3

次世代産業を核とした地域振興プロジェクト

展開方向
西播磨
中播磨
東播磨
神戸
阪神南
阪神北

■「メタルベルト」としての発展が期待されている播磨臨海部の次世代産業（航空・宇宙、水素等）の基幹技術を有する重工業や、高い技術力を誇る中小企業群を活かし、県立大学（金属新素材研究センター等）等との産学連携や、SPring-8、スーパーコンピュータ「富岳」等の先端科学技術基盤の活用等を通じて、エリア全体でオープン・イノベーションの仕組みの構築を図る。
■次世代産業に必要な技術人材の育成や、研究者が動きやすく、住みやすい職住近接のまちづくりも推進する。



SPring-8
【写真提供：国立研究開発法人理化学研究所】



望遠鏡なゆた

4

西播磨歴史文化街道プロジェクト

展開方向
西播磨
中播磨
但馬
他

■西播磨にある、龍野等の城下町のまちなみや、中世の山城、室津や坂越等の港町をはじめ、宮本武蔵ゆかりの地、宍粟鉄(千草鉄)等、あまり知られていない地域資源をつなぐ観光ルートの設定や交流拠点の整備等、西播磨の歴史・文化資源を活かした滞在型・体験型ツーリズムを推進する。



新舞子海岸の夕日



龍野地区の町家

5

リゾート・産業・文化を活かす「但馬ワークプレイスプロジェクト」

展開方向
但馬
他

■快適な環境の中での時間や場所にとらわれない働き方が徐々に普及しつつあるなか、豊かな自然やスキー・温泉リゾート、芸術文化、食等、多彩な地域資源を有する但馬を舞台に、リモートワークやワーケーションのモデル・プロジェクトを展開し、滞在人口の拡大と地域産業における新たな事業創造に取り組む。



長期滞在のスキー・温泉リゾートで世界の「ワーケーション」を推進する
イスサンモリタツ

6

二地域居住・都市農村交流推進プロジェクト

展開方向
丹波
他

■大都市近郊にありながら、原風景とも言える田園空間やブランド農産物、特色ある食文化、芸術文化等を有する丹波の強みを活かし、集落に残る複数の古民家等を活用した「地域まるごとホテル」の展開や、地域資源を活かした体験型コンテンツの提供等により、二地域居住・都市農村交流を推進し、交流・関係人口の創出・拡大を図る。



丹波の田園空間



集落全体がひとつの大きな家

7

令和の「御食国」プロジェクト

展開方向
淡路
神戸
東播磨

■古来より御食国と呼ばれ、食の宝庫である淡路島の食を活かし、農や食への関心の高い若者の島内就業・起業の支援や淡路島食材の新たなブランド化、島内の地域資源を組み合わせたツーリズムを推進することで、日帰り型から滞在型観光への移行を図り、世界から人が集い、憩い、楽しむ「令和の「御食国」淡路」の形成を目指す。



サンセバスチャン (スペイン)
※人口18万人でありながら、美食の街として観光客が絶えない

8

多自然地域一日生活圏維持プロジェクト

展開方向
多自然
地域

■人口減少により生活・サービス機能の維持が困難な地域において、日常的に地域住民が集まる拠点（コンビニエンスストア等）を整備することにより、地域コミュニティの再構築を図る。
■拠点を核に、集落への移動販売や買い物代行サービス、高齢者の見守り等を普及する。
■ドローンによる貨物配達、自動運転技術を活用したオンデマンドバス等の社会実装を推進する。



川西郷の駅 (広島県三次市)
※地元野菜等の販売スペースやコミュニティスペース、血圧や体温等が測定できるスポットを併設